

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度相模原市障害者差別解消支援地域協議会		
事務局 (担当課)		福祉部障害政策課 電話042-707-7055(直通)		
開催日時		平成31年2月8日(金) 10時30分~12時		
開催場所		市民会館3階第1大会議室		
出席者	委員	31人(別紙のとおり)		
	事務局	3人		
公開の可否		可	不可	一部不可
		傍聴者数		1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 障害を理由とする差別の相談事例等について (2) 障害者差別解消推進に関する取組等について (3) その他 3 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

参考資料を用いて、本協議会の概要等について、説明。

会長職務代理者の選出について、要綱の規定に基づき、会長から中野委員を指名した。

2 議題

(1) 障害を理由とする差別の相談事例等について

資料1 - 1 ~ 1 - 3 について説明。

事例の中の不動産分野に関して、不動産業界では周知の徹底を図っていると聞いている。不動産オーナーに対してもさらなる周知が必要と感じた。役員会等を通じて、働きかける。

金融分野に関する事例については、個人情報やコンプライアンスの関係が厳しいと聞いている。今回の事例は情報共有していく。障害のある方への支援は、寛容な気持ちで接していただくのが肝心だと思った。

○ 事例の中でオーナーが障害のどのような理由で断ったのか。

障害の内容をどこまで伝えたかどうかは調査ではわからない。障害のある方が物件を借りる際に自身の障害を事前に説明しておくようにしていると聞いている。不動産業者に本人のことを丁寧に説明したとのことなので、おそらく説明したものと思う。

○ バスの降車時に罵倒されたという事例は、誰から罵倒されたのか。また、どのように対処したのか。

運転手から罵倒された。その後、本人が会社に連絡をし、後日、会社から謝罪を受けている。

○ 金融の事例について、支援者の同席に反対したのは、銀行の方針なのか。

今回の調査ではわからないものである。

○ バスの事例について、手帳は何の障害種別か。

相談事例が思っていたより少ないと感じているが、この程度なのか。

差別には見える差別と見えない差別があり、合理的配慮をしているからといって、心の中では、差別しているかもしれない。心の中の差別までなくしていかなければならない。

手帳の種別は今回の調査ではわからない。

件数が少ないのは、調査の対象が市役所内と相談支援事業所であり、市役所関

係各課は、不当な差別的取扱い、合理的配慮の不提供は禁止となっていることから、件数が少なく、合理的配慮の好事例の件数が伸びている。

見えない心の差別については、市が力を入れている障害者理解促進事業を今後さらに推し進め、市民の皆さんが障害について理解をするよう取り組んでまいります。

- 以前、働いていた会社では罵倒されたり、休ませてもらえなかったりしたが、今の会社では、丁寧に仕事を教えてもらえ、すごく助かっている。以前に熱が出てた時は休憩室で休むことができた。
- 現在はハーバリウムを製作している。

(2) 障害者差別解消推進に関する取組等について

資料2 - 1、参考資料6について説明。「共にささえあい 生きる社会」の啓発動画を視聴。

(3) その他

- 相模原市における障害者の積極的な雇用に関する取組方針、相模原市人権指針の改定について説明。

法定雇用率が達成できていない状況について、何人足りなかったのか。また、その理由は。

- 法定雇用率の2.5%を達成するためには75.5名足りなかった。達成できなかった理由は、基礎となる対象の人数について、非常勤職員を対象としていなかったことや、障害有無の確認方法について、手帳所持の記載のある職員について、手帳の確認をしていなかったこと、職員の申し出の障害の状態から障害者として計上してしまっていたためである。
- 実際に雇用していたのは何名だったのか。
- 再調査の結果、実際88.5名雇用していたところである。法定雇用率を達成するには全体で164名の雇用が必要であった。
- 人権指針は具体的にどこを改定しているのか。
- 基本理念の改定や、新たな人権課題に対応するため、分野別施策を9分野から14分野に増やしている。
- 本当は障害者を雇いたいと思っていないのではないかと考えてしまう。障害者を活かそうという視点が大事。雇用率達成のためだけの取組になって欲しくない。精神障害者も雇っていただきたい。
- 障害者権利条約では、障害を理由として自由を奪われること、強制医療は人と

しての完全性、統一性を侵害することであると位置づけられ、障害のない人と平等に、人としての完全性、統一性を犯してはならないと定めた。

日本は条約に批准したが、まだ精神分野には課題がたくさん存在する。精神分野が抱える問題の共有をしていただきたい。

障害者自立支援協議会における情報提供あり方プロジェクトチームの内容について、説明。障害当事者がわかりやすいような会議の運営の仕方について話し合ってきた。一例としては、名簿番号と一致した席札を置く等を今回の会議から実施している。

3 閉会

以 上

相模原市障害者差別解消支援地域協議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	中村 誠治	横浜地方法務局相模原支局 総務課長		出席
2	松田 誠二	相模原公共職業安定所 所長		出席
3	安藤 実	神奈川県相模原警察署 警務課住民相談係 係長		出席
4	佐藤 裕之	神奈川県相模原北警察署 警務課住民相談係 係長		出席
5	赤石 将	神奈川県相模原南警察署 警務課住民相談係 係長		出席
6	坂川 智律子	神奈川県津久井警察署 警務課住民相談係 係長		出席
7	吉原 キミ子	相模原市身体障害者連合会 副会長		出席
8	永井 香苗	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		出席
9	永井 祐喜	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		出席
10	大石 真弥	みどり会（相模原市精神障害者家族会） 副会長		出席
11	榛澤 昌高	精神障がい者仲間の会（あしたば会） 事務局長		出席
12	佐藤 聡一郎	一般社団法人相模原市医師会 理事		欠席
13	佐藤 清美	相模原市立小中学校長会		出席
14	若林 由美	相模原市立小中学校 P T A 連絡協議会		出席
15	山崎 和正	相模原商工会議所 理事兼事務局長		出席
16	片野 憲治	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 事務局長		出席
17	小林 麻衣子	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団		出席
18	谷澤 藤男	相模原市障害福祉事業所協会 副会長		出席
19	中村 方子	相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事		出席
20	名取 孝浩	神奈川県弁護士会		欠席
21	中野 陽子	和泉短期大学 准教授	会長職務 代理者	出席

22	土方 伸一	相模原人権擁護委員協議会		出席
23	大木 恵	相模原市自治会連合会 理事		欠席
24	小林 和明	相模原市福祉部 部長	会長	出席
25	前田 康行	相模原市総務法制課 課長		欠席
26	川村 彰	相模原市コンプライアンス推進課 課長		出席
27	鈴木 秀太郎	相模原市職員課 課長		出席
28	椎橋 薫	相模原市企画政策課 課長		欠席
29	内田 和也	相模原市危機管理課 課長		出席
30	高梨 邦彦	相模原市区政支援課 課長		欠席
31	松上 英二	相模原市人権・男女共同参画課 課長		出席
32	矢澤 正明	相模原市健康福祉総務室 室長		出席
33	榎本 好二	相模原市こども・若者政策課 課長		欠席
34	石原 朗	相模原市環境経済総務室 室長		欠席
35	仙波 浩美	相模原市雇用政策課 課長		出席
36	奈良 浩之	相模原市都市建設総務室 室長		欠席
37	安藤 悟	相模原市緑区役所区政策課 課長		欠席
38	井上 隆	相模原市中央区役所区政策課 課長		出席
39	村上 秀明	相模原市南区役所区政策課 課長		出席
40	中村 敏幸	相模原市議会総務課 課長		出席
41	杉野 孝幸	相模原市教育総務室 室長		欠席
42	細川 恵	相模原市学校教育課 課長		欠席
43	藤田 知正	相模原市消防総務課 課長		欠席
44	芦野 拓	相模原市障害政策課 課長		出席